

“はあと”をつなぐ情報誌



月刊 はあとふる あたご

第 69 号
【発行】
2011 年 5 月

【発行元】株式会社はあとふるあたご 〒951-8051 新潟県新潟市中央区新島町通三ノ町2284番地
電話 025(228)5000 FAX025(228)4000 【発行者】木村 淳



オープンしました！

■左／窪田町多機能施設“日和庵”（関連記事は 9 ページ）

■右／福祉用具ショップ ユニゾンプラザ店（関連記事は 12 ページ）

目次

平成 23 年度 新入社員紹介（1）・・・ 2

平成 23 年度 新入社員紹介（2）・・・ 3

事業所だより・・・・・・・・・・ 4～10

バッハ先生のひとりごと 第 11 回・・・ 5

波田野先生のコラム 第 23 回・・・ 11

ユニゾンプラザ店 オープンしました 12

わたしたち はあとふるあたご は、“人” を一番大切にします。

平成23年度 新入社員紹介

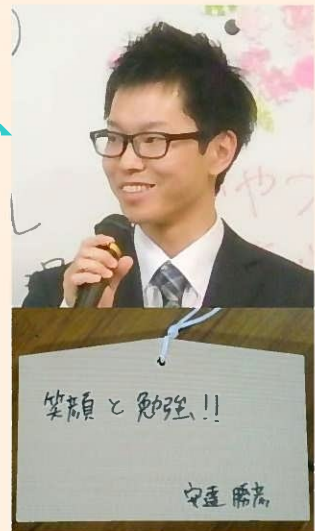


森山課長 久保次長 稲川敦 村山絢亮 長谷川祐哉 梁取諒 日野部長
安達勝彦 阿部香織 木村社長 原取締役 本間恵理 石本莉菜



お客さまのQOL向上のため、「笑顔」と「日々勉強」を忘れず、頑張りたいと思います。

あだち かつひこ
福祉用具センター新発田 安達 勝彦



明るく元気に働きます。そのために笑顔を大切にし、お客さま一番を心がけ、何事にもチャレンジしていきたいです。

あべ かおり
デイサービスセンター日和庵 阿部 香織



お客さまのより良い暮らしのために、お客さまの視点で福祉用具を提案し、お客さまに信頼される販売員を目指します。

いながわ あつし
福祉用具センター柳都大橋 稲川 敦



お客さまを第一に、安心・満足していただけるサービスを心がけます。1日1日を大切に、日々成長していけるよう頑張ります。

いしもと りな
グループホーム五泉 石本 莉菜

平成23年度 新入社員紹介

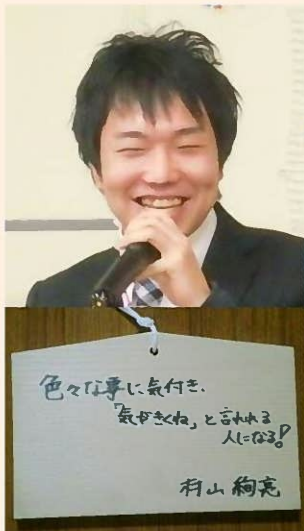


お客さま一人ひとりを大切にして、信頼していただける職員になりたいと思います。真心のこもったサービスを提供していきます。

はせがわ ゆうや
サービスセンター水原 長谷川 祐哉

社会人として、責任を持った行動を心がけ、介護福祉士として笑顔忘れず、信頼していただけるよう努力します。

ほんま えり
小規模多機能ホーム日和庵 本間 恵理



いろいろなことに気がつき、「気が利くね」と言われるような職員になる!!

むらやま しゅんすけ
サービスセンター河渡本町 村山 絢亮

お客さまに信頼していただくことを第一に、頑張りたいです。一日でも早く、サービスセンター柳都大橋の一員になれるよう努力します。

やなどり りょう
サービスセンター柳都大橋 梁取 諒



今年は、男性が大変多く入社されています。そのせいか、内定者研修初日から打ち解け、2回目の研修後には懇親会をされ、急速に親睦を深めていたようです。配属先はそれぞれですので、研修時のように共に学ぶことは出来ません。この一年は、今までにない感動や苦労があることと思います。絆を深めた同期のみなさんは、是非その思い・悩みを共有し、共感出来る関係をこれからも持ち続けてください。関係者一同、心よりエールを送ります。

総務部人事課 課長 森山 一成

デイサービスセンター柳都大橋

●素敵な塗り絵作品

今回は、お客様の作品をご紹介します。

柳都大橋のホールには、本格的な塗り絵が飾られています。この作品群は、すべて小谷様が塗られたものです。

小谷様は、3年くらい前から塗り絵を始められ、見本を見ながら色鉛筆と水彩筆の2種類を使って描いていらっしゃるそうです。



家庭でも、気が向けば3時間くらい描かれることもあり、絵手紙用の作品も作っておられるそうです。一番のお気に入り、カブトムシだとか。

小谷さま、これからも素敵な作品をお待ちしています。

デイサービスセンター柳都大橋

佐藤 弘康

電話 025-228-5010 FAX 025-228-3335



水原多機能施設

●☆☆ボランティア書道～池田祐彦先生☆☆

<書道を始めたきっかけ>

人事の仕事に関わったおり、あまりの字の汚さに「書かなくていい」と言われてショックを受け、職場の書道部に入部されたそうです。10年間続けられ、半紙漢字5段、半切2段まで取られましたが、結婚を機にやめてしまわれました。でも、定年と共に再開。自宅で、1日5～6時間、書道に励まれているそうです。

<ボランティアを通して感じている事>

「愛は求めるものではなく、与えるものである」



でも、見返りはいりませんなんて、そんな偽善的なことは言いません。

私の見返りは、お客様の笑顔とありがたい言葉です。それが欲しくて、ボランティア活動をしています。毎回参加されているお客様が、明らかにメンタル的に良くなられ、笑顔が見られるようになったことを、嬉しく幸せに感じています。

<お客様から池田先生へ>

筆をとって字を書く事で、とても心が落ち着きます。池田先生が週2回来て下さる時間は、私にとってとても貴重な時間です。いつも楽しみにしています。



小規模多機能ホーム水原

五十嵐 貴徳

電話 0250-62-8888(デイ)／0250-62-8886(ショート)／0250-63-1222(小規模多機能ホーム)

FAX 0250-62-8887(共通)

パッパ先生のひとこと 第11回

～東日本大震災～

新潟大学工学部福祉人間工学科 教授 工学博士／歯学博士 林 豊彦

平成 23 年 3 月 11 日 14 時 46 分、東日本の太平洋側を M9.2 という巨大地震が襲った。まずは、亡くなられた方々の冥福をお祈りし、被災された方々にお見舞い申しあげる。

この震災は、地震、巨大津波、原子力発電所の事故の 3 つが重なり、規模においても復興の困難さにおいても未曾有の大災害となった。日本の国土はほとんど山からなり、人が住みやすいところは、海岸、山麓、沖積平野くらいしかない。が、地震と集中豪雨も多いため、常に地震、津波、洪水、土砂崩れなどの自然災害による危険にさらされている。

その一方で、森林資源と水資源に富んでいるため、世界で最も自然の生産性の高い国でもある。日本人はこの良い面を生かしながら、自然とともに生きて来た。そのため自然に対する畏敬の念が強い。しかし、欧米化の流れの中、日本のほんとうの豊かさを忘れかけていないだろうか。エネルギーを大量消費し、ものにあふれる生活を求め過ぎてこなかっただろうか。多大な犠牲を無駄にしないためにも、この大災害を「生きる基盤」を考え直す好機としたい。



(Yomiuri Online より転載)

人知こゆる
巨大地震のすさまじさ
亡き人々に
とはの安息あれ



デイサービスセンター横越

●レッツ、ダンシング!!!



3 月 29 日、こんなにかわいいダンサーたちが、ダンスを披露してくれました☆

これがまた、キレがあって、かっこよくて、かわいくて、もうお客様も職員もメロメロです♥



お客様の子供達を見つめる視線が優しく、温かで……。きっと、昔の事やご家族の事など、色々な思いを胸に抱きながら見つめておられたのでしょう。あんなに優しいお客様の表情は、子供達にしか引き出せません。子供の力ってすごいなあと、つくづく思いました。

私たちも、子供達に負けず、お客様の飛び切りの笑顔を引き出して見せます☆ お客様、覚悟しててくださいね！

デイサービスセンター横越

小澤 淳貴

電話 025-383-2235 FAX 025-383-2236



グループホーム三条

●春の足音

今年の春は、なかなか足が遅く、あまりに待ち遠しくて、ご自分から探しに出られる方もいらっしゃる……。

そこでスタッフは、お客様と一緒に、海沿いをドライブに行ってきました。

この日は少し肌寒かったのですが、お客様は結構喜んで下さって、いい表情で写っていらっやいます。



また別の日には、あたたかい陽射しの中、車椅子でお散歩。

ほんの近所ですが、暖かい陽気は、気持ちも和やかにしてくれます。

今日もまた天気が良いので、お客様はいそいそと外出を希望され、なかなかフロアが賑やかです。

私も同行させていただくことがありますが、健脚の方にはなかなか付いていくのが大変で、運動不足を痛感しております。

もうすぐ桜も咲きますね。

楽しみだなあ……。



グループホーム三条

難波 淳

電話 0256-36-5555 FAX 0256-36-5556

デイサービスセンター坂井東

●春の大運動会

天気が良くても、外を散歩するにはまだ肌寒く、でも何だか気分はウキウキしてくる3月でしたね。例年になく、まだまだ寒い日が続いていますが、春はすぐそこまで来ています！

そこで、坂井東では、何日かに分けて運動会を行いました。



2チームに分かれての対抗戦。足踏み10回のバトンリレー。かつら・メガネ・腰飾りなどをお客様に付けて頂き、職員が借りに行く「借り物競争」。皆様、楽しそうに装飾の品々を身に付けて下さいました。そんな協力的なお客様と一体となり、今までになく盛り上がった運動会でした。

デイサービスセンター坂井東

石田 久仁子

電話 025-268-8880 FAX 025-268-8887

デイサービスセンター城北町

●ニューマジックショーとハーモニカ

3月11日、ボランティアさんによる“マジック&ハーモニカ”のショーが行われました。

「ニューマジック新発田」さんは、老人保健施設、幼稚園、保育園などで、マジックショーやハーモニカを披露していらっしゃいます。

マジックショーでは、赤と白の手袋をあっという間にスカーフに変えて見せ、一瞬でお客様の心をつかんでしまいました。その後は、お客様代表に手伝って頂きながら「縄抜け」にも挑戦。アップテンポの音楽に合わせて、次々と披露されるマジックに、瞬きをすることも忘れて見入ってしまいました。



最後に、ドキドキした心臓を沈めるように、ハーモニカの音色に合わせ、昔懐かしい曲をみんなで歌いました。

あっという間でしたが、楽しい時間を過ごす事が出来ました。次回はどんなマジックを見せてくださるのか、今からとても楽しみです。

デイサービスセンター城北町 竹内 啓泰
電話 0254-21-3330 FAX 0254-21-3335

デイサービスセンター河渡本町

●河渡本町のホワイトデー♡

河渡本町では、3月15日（火）に、1日遅れのホワイトデーのおやつレクを行ないました(^0^)/



まずはホワイトデーについて、お話をうかがいました。とある女性のお客様は、昨日のホワイトデーに、旦那さんからオルゴールをもらったそうです。「結婚してから初めてもらったの」と、嬉しそうに話されていました(*^_^*)

お次は、本番！！ おやつレクです♪♪

厨房から来た、薄めに焼かれたホットケーキを、ハートや桜に型抜きしました。更にその上に、苺・桃・生クリーム・生チョコクリーム

ム・カラフルな粉で飾りつけ(^^)v

写真をご覧ください！！とっても可愛らしく仕上がりました。皆様、思い思い飾りつけをされたんですよ☆

可愛いだけでなく、味もとびきり(^_-)-☆ 皆様でお話しながら、楽しくいただきました。

男性の皆様、ホワイトデーのお返しをお忘れなく★シ



デイサービスセンター河渡本町 瀧澤 祐美
電話 025-250-3001 FAX 025-250-3010

グループホーム五泉

●新年度、発進します

今年も、新年度が始まりました。

グループホーム五泉が開所して、8年目になります。私が入社してからは、丸7年が経過しました。開所当時は、私が一番若く、先輩方、お客様、ご家族に、沢山の御指導をいただきました。私も今年で30歳、中堅となりました。今後は、若い力を育てていきたいと思います。今年度は、新卒職員が1名、当ホームに配属されましたので、近々ご紹介いたします。



お客様の方では、開所当初から入居されているお客様が現在4名。今でもお変わりなくいらっしやいます。

話は変わりますが、先月、新しい車が配備されました。



今度の車は7人乗りです。車椅子のお客様も、そのまま乗ることができる便利な車です。

暖かくなってきた今日この頃。今年は、より多くのお客様をお連れして、地域に出かける予定です！！

今後も、“はあとふるあたご グループホーム五泉”を、よろしくお願いいたします。

グループホーム五泉

岡田 健

電話 0250-41-1610 FAX 0250-41-1611

居宅介護支援課

●落語の楽しみ！！

落語は江戸時代のお話ですが、人情話あり、恋愛もの、駆け落ち、仇打ち、幽霊話、お笑いあり。長屋の八ちゃん、熊さん、ご隠居さんなど、登場人物もさまざまで、庶民の暮らし、生き様が手にとるようにわかります。想像力も働き、脳の活性化には最適です。落語には必ず落ちがあって、そこがまた魅力にもなっています。一人で何役も演じる落語家の声色や、道具（扇子・手ぬぐい）を使った仕草には、臨場感があって自然と引き込まれてしまいます。

ある落語家のネタでおもしろかったのが……。

男の遊びといえば？「飲む、打つ、買う」。すぐに、ピンときますよね。でも最近では、飲むが「サプリメント」、打つが「うつ病」、買うが「ペットを飼う」なんだそうです。なんとも、現代の世相を映しだしていますね。

皆様、健康が一番です。お後がよろしいようで。



居宅介護支援センター柳都大橋

安中 則子

窪田町多機能施設

● “日和庵” オープンしました

平成 23 年 4 月 1 日（金），“はあとふるあたご日和庵”がオープンいたしました。

記念すべきお客様は……、1 階のデイサービスが 1 名様、2 階の小規模多機能ホームが 1 名様でした。お客様に、1 階、2 階を見学していただいたところ、「初めて来たけど落ち着くね〜」「^{しも}下にこんなところがあったんだねえ」とおっしゃってくださいました。



昼食には、初日ということで、お赤飯を召し上がっていただきました。

「やわらかくて食べやすいね」「お祝いなんだね」「おいしいごはんだね」と、お話もはずんだご様子。

こうして初日は、あっという間に過ぎてしまいました。お客様、ご家族のみなさまに愛されるよう、職員一同、様々なことに取り組んでまいりたいと思います。

今後とも、よろしくお願いいたします。

施設長 成田 洋子

電話 025-229-2530(デイサービスセンター日和庵)／025-229-2532(小規模多機能ホーム日和庵)

FAX 025-229-2540(共通)

グループホーム新津

● 思いが……、届きますように

当ホームに入居されている中野キヨ様は、毎日コツコツと靴下を編み続けておられます。編み上がった靴下は、施設や地域の方に提供し、喜ばれています。今回、大震災で被災された方々にも是非と、3 月 18 日、たくさんの靴下を、社会福祉協議会のボランティアセンターに託し



て参りました。

地震発生後も大変な寒さが続く中、「足元から温んで頂きたい」という思いでお届けしました。

3 月 25 日には、グループホーム協会から要請のあったオムツやポータブルトイレ等の物資支援も行いました。がんばろう日本！

小さな支援の力が、大きな力となりますように……。

グループホーム新津

渡邊 やよひ

電話 0250-21-2888 FAX 0250-21-2889



デイサービスセンターさかえ

●七分咲き

すっかり春めいて参りましたね。

お日様もぽかぽかと気持ち良く、春の花々も咲き始めました。

そこで、当センターの壁にも花を咲かせてみたい!、と思い立ちました。試行錯誤しながら、お客様にも協力をお願いし、お花紙でお花を作って頂きました。



最初は何が出来上がるのかと半信半疑の方もいらっしゃいましたが、何枚も重なったお花紙の蕾を一枚一枚広げると、綺麗に開花し、桜の木が出来上がりました。ただ今、七分咲きでしょうか？

裾野には、菜の花をイメージして黄色のお花を飾って頂き、見事なお花畑が出来上がりました。お客様も

「わあ！ 綺麗になった」とおっしゃられ、喜んで下さいました。

これからも、お客様と一緒に力を合わせて、お客様の笑顔が見えるような、楽しい作品作りをして参りたいと思います。



デイサービスセンターさかえ 平賀 マリ子
電話 0256-45-7735 FAX 0256-45-7739

デイサービスセンター松浜

●桜餅作り☆

3月の調理レクリエーションで、桜餅づくりをしました♪♪

まず最初に、あんこを丸める作業。次に、あんこを包む皮を焼く作業。

「もう少し皮は薄く焼いたほうがいいんでない？」

「なんだかあんこの大きさがバラバラだわ～」

とても楽しそうな声が、あちらこちらから聞こえてきました(●´▽`●)♪ 皮が焼き上がると、あんこを包み、桜餅の出来上がり!!! 皮は、ほんの



りピンク色で、とても可愛い桜餅です(^▽^)♪

「うんめよ～」

「おかわりはねんけ??」

皆様のお口に合ったご様子☆ やはり、自分たちで作ったおやつは格別ですよね!!!

とっても楽しい調理レクリエーションになりました♪♪



デイサービスセンター松浜 大久保 優
電話 025-255-7701 FAX 025-255-7705

波田野先生のコラム 第23回

丸山診療所 院長 波田野 徹



『エコノミークラス症候群について』

この度の東日本大震災により被災された皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。

最近、「エコノミークラス症候群（急性肺動脈血栓塞栓症）」の病態が明らかになってきました。新潟県中越地震の際、自宅が倒壊した被害者で、3日間以上自動車で寝起きた中高年の方に、エコノミークラス症候群が起きました。

それでは「エコノミークラス症候群」は、どのようにして発症するのでしょうか？ 飛行機の中などで長時間すわったまましていると、下肢の静脈のうっ滞と水分不足による血液粘度の上昇が起こり、血栓ができて下肢の血管壁に付着します。この血栓が血管壁からはがれ、肺にとんで、肺の血管を閉塞し、急性肺動脈血栓塞栓症を引き起こします。航空機内のエコノミークラスの客からこの病気が多く報告されたため、エコノミークラス症候群という名前が知られるようになりました。ファーストクラスでもこ

の病気にかかりますが、航空機、長距離バス、長距離列車など、長時間一定の姿勢を続けていると危険です。

「エコノミークラス症候群」を予防するには、どうすれば良いのでしょうか。狭い場所で座っていると血流が悪くなるので、手足を動かしましょう。足は組まない方が良いでしょう。1時間に1回は席を離れ、足の運動をしましょう。また水分をこまめに補給する事も重要です。足に弾性ストッキングを使用するのも有効です。長時間乗り物で座る際には、体調にくれぐれも気をつけましょう。



☆☆ エコノミークラス症候群の予防運動 ☆☆

1時間に1回の割合で、下記の運動を5～6回しましょう。

- 1) 両肩をすくめてから、肩の力を抜いておとす。
- 2) 頭をゆっくり、右肩と左肩に傾ける。
- 3) 両足を床において、足を胸の方にゆっくり持ち上げる。
- 4) つま先や、かかとを上げ下げする。



丸山診療所[新潟市江南区丸山 472-1] Tel. 025-278-5100